

クリスマス会

一昨年は感染症対策の為に開催できなかったのですが、2年ぶりのクリスマス会を感じていただければと担当職員一同準備を進めて参りました。当日のプログラムは皆様と一緒にリズム体操、サルビアバンド演奏、ドリフターズの8時だヨ！全員集合で流行った早口言葉ゲーム。早口言葉では職員がしどろもどろになった後、皆様にも早口言葉に挑戦していただき、たくさんの笑顔を見る事ができました。でも、やはり一番喜んでいただいたのは、おやつにご用意したショートケーキでした。大きなケーキを前に皆様、目を輝かせて本当に美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。

クリスマス会へようこそ



歌のプレゼント



リズム体操



手作りリボンでおめかし



クリスマスメニュー



なまむぎなまごめ
なまたまごめ
Good

早口言葉言えるかなあ



リハビリ室より

新年あけましておめでとうございます。今年もリハビリ室より色々とお知らせできればと思いますのでよろしくお願いいたします。リハビリで行っている活動について、昨年は手芸や書道を紹介しましたが、生け花も週1回行っています。お花を活ける工程には「お花の香りを感じる」「お花の長さや質感を手で触って感じる」「お花の色や形を目で見て観察する」「ハサミでお花を切る音を耳で聞く」などがあり、これらは五感(脳)への刺激となっています。実際、生け花をしているご利用者はとても集中して作業を行っており「この花はこのほうがいいかな?」「ここにさしたほうがキレイかな?」「この花、少しグがあるね」「良い匂いね」とお話しされます。お花は見た目もキレイで香りもよく、植物の温もりを感じることができるため、生け花を実際に行う高齢者の方だけではなく、介護を行っている方のストレス軽減にも良い効果があると言われています。生け花をしている時間は、花を生けているご利用者も、周りで見ているご利用者もスタッフもみんな笑顔でお話されています。手芸や書道や生け花に共通することは、より豊かにその人らしく、幸せだと感じる時間を過ごしていく事ができる点だと思います。リハビリの時間の中で少しでも楽しみができるように、今年も工夫して参ります。



委員会紹介 ①身体拘束等適正化委員会

サルビアでは介護保険制度に基づき「身体拘束ゼロ」を実施しています。「身体拘束ゼロ」について、介護保険施設の指定基準には、次のような身体拘束禁止規定が明記してあります。「サービスの提供にあたっては、当該入所者(利用者)または他の入所者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束、その他の入所者の行動を制限する行為を行ってはならない」とあります。

具体例として以下のようなものがあります。

× ベッド柵

- ・徘徊できないよう、車椅子や椅子、ベッドに体や手足を縛る。
- ・ベッドからの転落防止目的で、ベッドに体や手足をひもで縛る。
- ・ベッドから自分で降りられないよう柵で囲む。
- ・自分では開けることのできない部屋などに隔離する。



× 車椅子ベルト

身体拘束を行う事の弊害として、身体機能の低下、拘束している部分が圧迫されて褥瘡が発生してしまう可能性があります。また、精神弊害として不安や怒り、屈辱、諦め等の精神的苦痛、さらに人間としての尊厳をも侵してしまいます。このような事から前述しましたように、当施設では「身体拘束ゼロ」を実施しています。

お願い

コロナウィルスやインフルエンザ感染者が増えています。ご面会の際は発熱の有無の他、喉の痛みや風邪症状がないか、健康状態をご確認してからお願いします。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

サルビア
スタッフブログ

